

# イスラーム美術に 魅せられて

---

都市調査会・クアラルンプール視察報告

都市調査会(GV5期生) 谷井千絵

# 初めて訪れたイスラーム教圏

---

- ◆ 厳格に戒律を守る
- ◆ 生活にしみこんだ教え
- ◆ 美しさを競うモスク、巨大、荘厳、素晴らしい建築

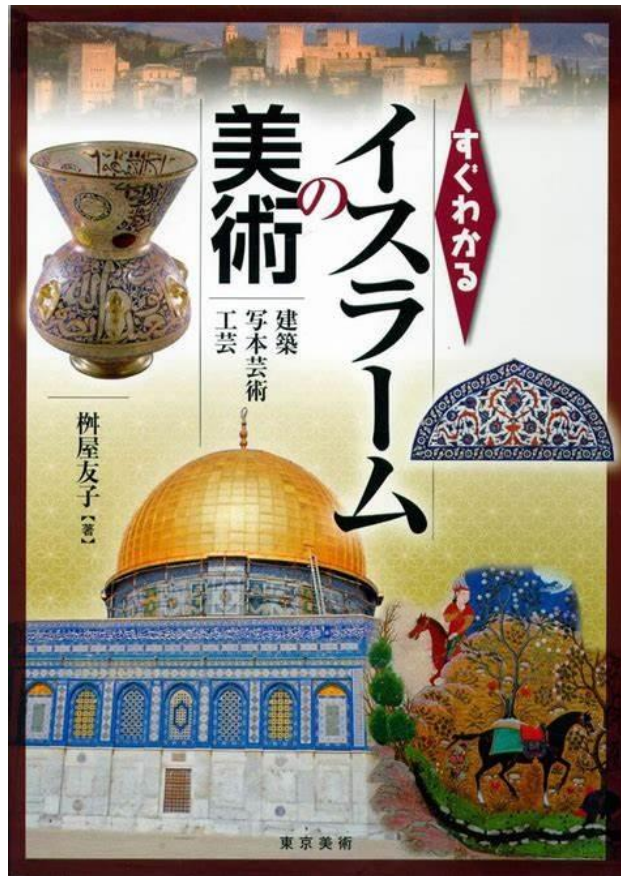
# モスクに見るイスラーム美術



## 4箇所のモスク他の見学

- ① マラッカ 水上モスク
- ② シャー・アラム ブルーモスク
- ③ プトラジャヤ アイアンモスク
- ④ プトラジャヤ ピンクモスク
- ⑤ アスタカ・モロッコ

# イスラーム美術に魅せられて



本報告の出典は・・・

すぐわかるイスラームの美術

建築・写本芸術・工芸

梶屋 友子 著

東京美術出版 すぐわかるシリーズ

# イスラーム美術

他の宗教美術との違い

「注文した人物」「製作(制作)した人物」「受け入れた人物」のいずれかがムスリムなら、それは「イスラーム美術」

他の宗教美術、例えば「仏教美術」や「キリスト教美術」は純粹に宗教美術だけを指す

---

イスラーム教では、美術、とりわけ宗教美術を大きく規定しており、その結果、宗教美術を至高の美術として尊重するムスリムに共通の美意識が生まれ出されていった。

# 宗教美術とは

あるものに超人的威力を感じ、それに畏怖、驚異、信頼の情をいだいて祈願礼拝し、あるいは祭祀儀礼を行う場合、人間には具体的な対象を想定する傾向がある。

その際、それらがなんらかの美的意匠を目指して具象化されたもの、あるいは後世になって美的対象として鑑賞されたものを宗教美術という。

---

出典 ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典

# 偶像崇拜禁止と動物表現の忌避

聖典コーランに「偶像を崇拜してはならない」

ムハンマドの言行録「ハディース」では、動物の絵を描くことは神の創造に挑戦する罪深い行為と非難

礼拝の場であるモスク建築の壁画装飾や神の言葉を伝えるコーラン写本の彩飾では、徹底して神の表現及び人物・動物表現が避けられる。

---

最も尊ぶべきモスクとコーランを飾るのに適切な、人物・動物を含まない、美しい装飾モチーフが求められることになった。

⇒ 植物      幾何学      文字      …… 高度に発達

# イスラーム美術を特徴づける 3種の装飾モチーフ

---

◆**植物文様**: 蔓草文様、いわゆる「アラベスク文様」が代表。連続性と非現実的な造形が永遠の楽園を思わせる。

◆**幾何学文様**: イスラーム地域で発展した数学的作図を用いてデザインされ、神の創造する世界の祖型を表現する。

◆**文字文様**: 礼拝を行う神聖なる宗教語であるアラビア語。アラビア文字は特定のメッセージを伝える媒体でありつつも、図案化されてイスラーム美術品を飾る装飾要素の一つとなった。



# イスラーム美術作品の種類

---

◆建築 / イスラーム美術作品の総合体

◆写本美術 / 書と絵画

◆工芸品 / 多彩な素材と技法

# 建築

## —緻密な装飾と構造が魅了する美の世界

---

◆宗教建築(モスク、マドラサ(イスラーム諸学を学ぶ寄宿学校)、墓廟など)

◆世俗建築(宮殿、キャラバンサライ(隊商の宿泊施設)、浴場、バザール(市場)など)

◆多彩な技法から生まれる壁面装飾

モザイク、フレスコ画、タイル、浮彫、象嵌、煉瓦積み など

# 写本芸術

## —職人の精魂が宿る書画と装丁の世界

---

### ◆書と絵画の発展の舞台は写本

写本とは、テキストを手書きで写した書物

書家は最も高い地位の芸術家、そして教養人

神の言葉コーランを書き写すことが最大の使命

### ◆神の言葉は最も洗練された美しい文字で記さねばならない

### ◆記された書物は美しく保護する⇒装飾、装丁の発展

素材の豪華さ・細工の緻密さ・デザインの美しさ

# アラビア書道の誕生

## — 厳密な規範に基づく書体で神の言葉を表す

### ◆ 基本六書体の創始

現在、アラビア語の書体はアッバース朝の書道家イブン・ムクラによって体系化された6つのスタイルがある。

イスラーム建築において特に使われてきたのが、クーフィー体。最も古い書体で、同じクーフィー体であっても、植物文様と組み合わせたような書体や高度に抽象化したスクエア・クーフィー体などの種類がある。



ナスヒー体



ナスタアリーク体



ディーワニー体



ルクア体

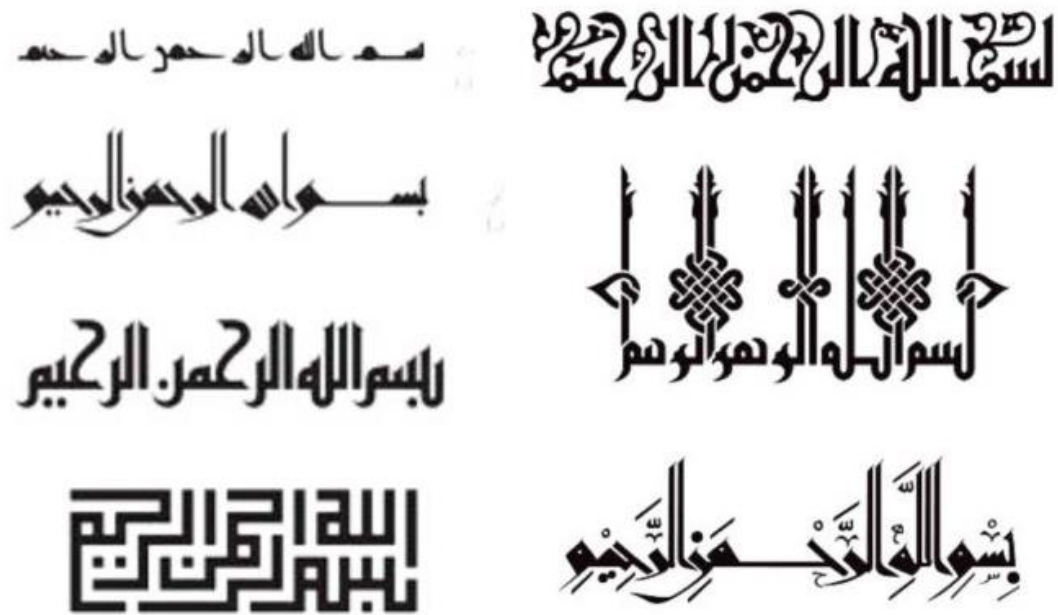


スルス体



クーフィー体

# イスラーム建築において特に使われてきた クーフィー体



直線を多用し、角ばっているクーフィー体は、レンガや石、木といった素材でも表現がしやすく、建築装飾で多用された。7世紀頃に登場したクーフィー体は、500年以上にわたり使われてきた。しかし12世紀以降は、スルス体やムハッカク体などに置き換えられていく。

# アラベスク文様

一渦状や一定の形で反復する植物の莖や蔓と葉や花などを組み合わせた模様



# 工芸

## — 儀礼具や日用品を彩る多彩な意匠

---

### 工芸品の著しい進歩の理由

#### ① 東西交易の中間点：多様な素材・原料を入手可能

製品を輸出するのに好都合

#### ② 特殊な技法や技術の開発

ラスター彩（金属のような光沢が特徴的な焼き物）、ミーナーイー（ペルシア語で「エナメル」を意味。多色のエナメルで上絵が描かれた陶器）、金属器における象嵌細工、ガラスにおけるエナメル彩

#### ③ それぞれの王朝が上質の工芸品制作を奨励、宮廷工房での職人の養成・保護

# イスラーム工芸の特徴

---

## ◆装飾文様

植物文様、文字文様、幾何学文様の組み合わせ

## ◆多彩・・・陶器、磁器、ガラス器、玉器（宝石、水晶、翡翠など）、

金属器、木工品、象牙品、テキスタイル、絨毯

・・・いずれも、宗教と日常生活に結びついた芸術



# 日本に伝来した美術工芸品の数々

## ◆ 7世紀後半から流入

最も早いものは、鑑真(688~763)が将来した唐招提寺舍利瓶  
東大寺正倉院中倉に収められたガラス器 3点  
これらは、7世紀末から10世紀までのイスラーム・ガラス

## ◆ 平安時代までの活発な東西貿易、その後は、日宋貿易など。 鎖国時代には、長崎を通して、絨毯が入っていた。

---

## ◆ 明治以降も着実にイスラーム美術のコレクションが形成された。

## ◆ 現代、日本は、東アジアとしては突出したイスラーム美術(特に 陶器とテキスタイル)におけるコレクションを誇る。

御清聴ありがとう  
ございました。

視察ではお世話になり、  
ありがとうございました。

— 出典・引用資料 —

◆すぐわかるイスラームの美術  
建築・写本芸術・工芸  
梶屋 友子 著 東京美術出版

◆世界のモスク  
<https://sekainomosque.com/>

◆視察団みなさま撮影の写真

